

第 1 5 章

財 政

## 第 15 章 財 政

### 1 大阪府の財政

平成 22 年度の普通会計決算額は、歳入 3 兆 6819 億円、歳出 3 兆 6418 億円と前年度に比べて、歳入 23.1%増、歳出 23.8%増となっている。

決算の収支状況を見ると、歳入から歳出を差し引いた歳入歳出差引額(形式収支)は、401 億円の黒字で、事業の繰越などにより翌年度に繰り越すべき財源 127 億円を差し引いた実質収支は 274 億円の黒字となった。また、22 年度の実質収支から 21 年度の実質収支を差し引いた単年度収支は 50 億円の赤字となった。

財政構造の弾力性を判断する指標とされる経常収支比率は 91.3%で、前年度に比べ 5.6 ポイント減少している。

#### 歳入

歳入のうち最も大きなウエイトを占める府税収入の決算額は、9860 億円で全歳入に占める割合は 26.8%となっている。

府債の決算額は 4051 億円で前年度に比べて 10.4%の増となった。これは、投機的経費の縮減に伴い発行抑制を行ったものの、府税収入の減少に対する減収補てん債の発行が増加したことなどによるものである。

#### 歳出

歳出決算額を目的別にみると、最も大きなウエイトを占めているのは総務費(構成比 23.5%)で以下、商工費(同 18.6%)、教育費(同 17.8%)の順となっている。

前年度と比較すると、総務費が伸びており、これを性質別にみると、総務管理費が 8044 億円(構成比 22.1%)が最も高くなっている。

### 2 市町村の財政

平成 22 年度の府内市町村普通会計決算額は、歳入 3 兆 7553 億円、歳出 3 兆 7247 億円と前年度に比べて、歳入は 0.1%減少、歳出も 0.2%減少している。

決算の収支状況を見ると、形式収支では 307 億円の黒字であり、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支でも 94 億円の黒字となっている。

また、市町村ごとの実質収支では、黒字団体は 29 団体(23 市 6 町村)、赤字団体は 14 団体(10 市 4 町)となっている。

#### 歳入

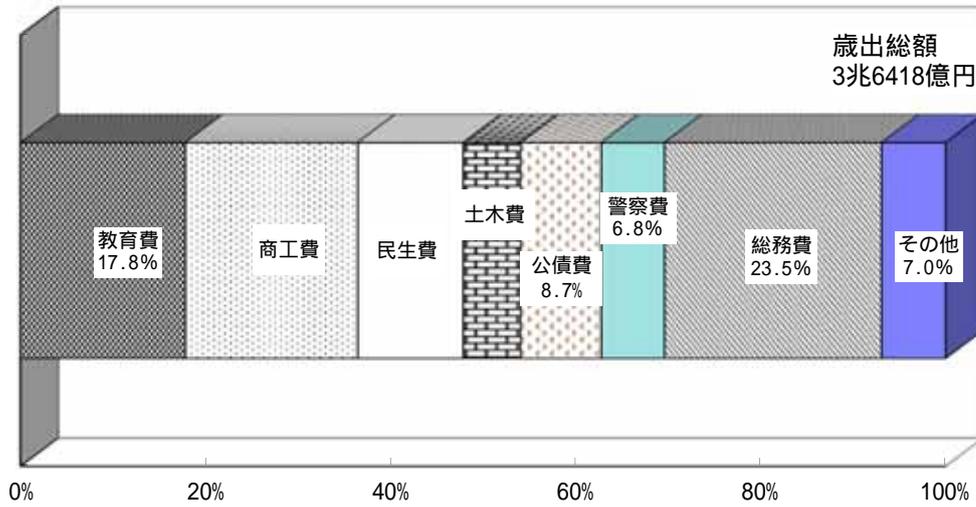
歳入を科目別にみると、地方税は、前年度に比べ 4.8%(73 億円)減であり、歳入総額に占める割合は、40.4%となった。

また、その他の歳入で主なものを科目別に見てみると、地方交付税は、前年度比 20.6%増、国庫支出金同 11.1%減、地方債同 3.8%増となっている。

#### 歳出

歳出を目的別にみると、民生費 1 兆 5303 億円(構成比 41.1%)、土木費 4601 億円(同 12.4%)、公債費 4304 億円(同 11.6%)、総務費 3645 億円(同 9.8%)、教育費 3349 億円(同 9.0%)、衛生費 2791 億円(同 7.5%)の順となっている。また、その他の歳出で主なものを科目別に見てみると、民生費は前年度比 12.9%増、土木費同 10.5%減、公債費同 1.2%増となっている。

普通会計歳出決算額の構成（平成22年度）



普通会計歳入決算額内訳（平成22年度）

